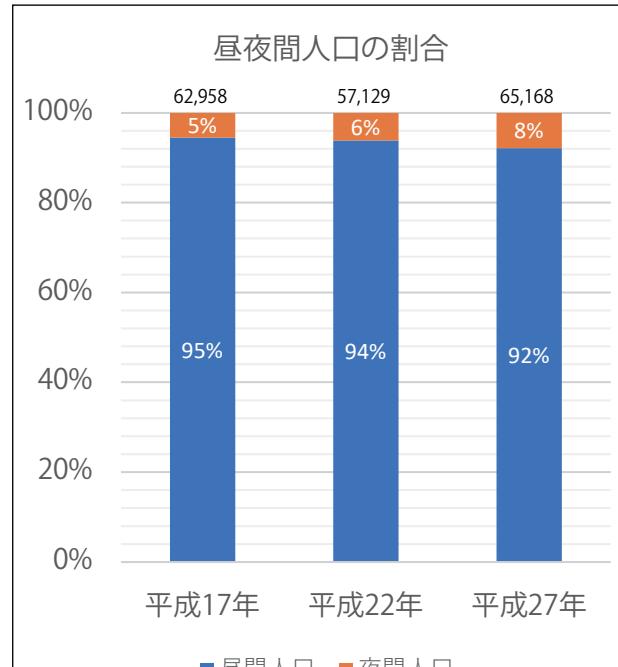
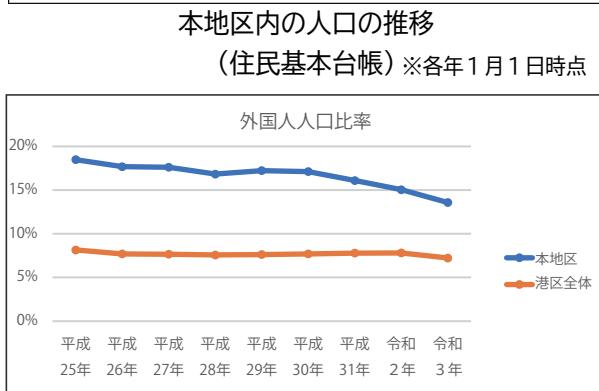
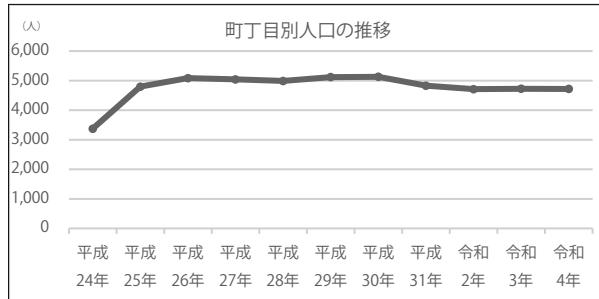


5

まちの現況

■人口

本地区内の人口は、ガイドライン策定時（平成24(2012)年）と比較して増加（平成24年比140%）しています。外国人人口比率は13.6%と減少していますが、港区平均の7.2%に比べて高い比率となっています。また、本地区内の昼間人口は平成27(2015)年時点での92%（60,009人）、夜間人口は8%（5,159人）と昼間人口が夜間人口を大幅に上回っています。

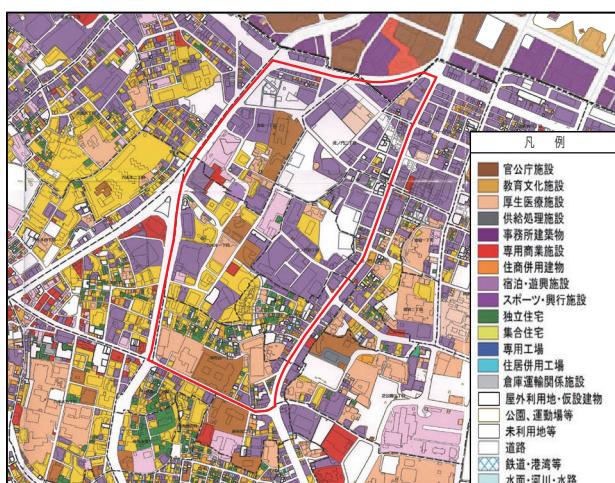


本地区内の外国人口比率の推移
(住民基本台帳) ※各年1月1日時点

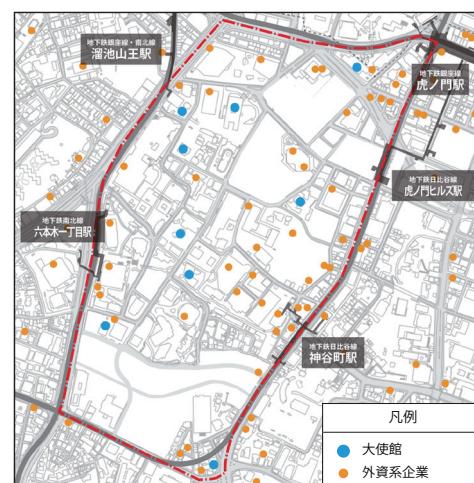
本地区内の昼夜間人口の割合の推移
(国勢調査)

■土地利用

駅周辺は業務系、商業系の多い土地利用であり、地区内側と南側は居住系の多い土地利用となっています。また、地区内には業務、商業、居住に加え、宿泊、教育、医療、文化、官公庁といった多様な都市機能や外資系企業、大使館など国際的な施設が多数集積しています。



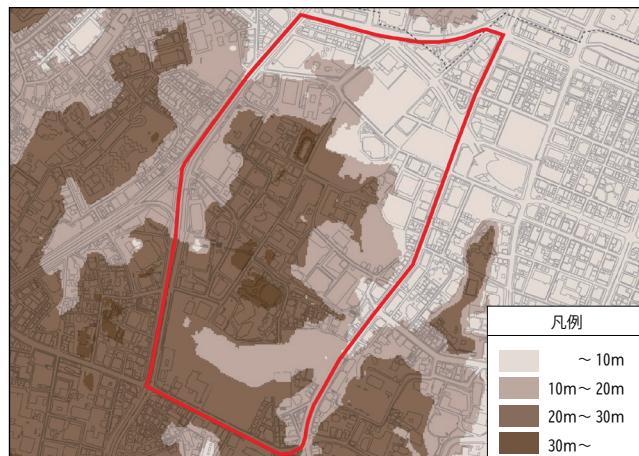
土地利用現況図
(土地利用現況図(用途別)(平成28(2016)年10月))



外資系企業、大使館の位置図
(外資系企業総覧2021、港区観光マップを基に作成)

■高低差

本地区は武蔵野台地の末端である高台地と、東京湾から続く低地で形成されており、高低差が大きい地区となっています。



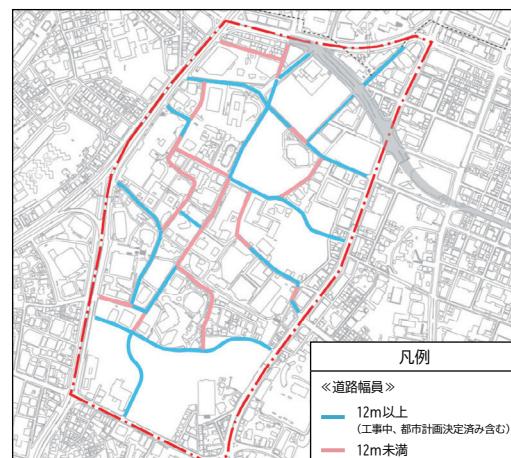
地形図
(国土地理院 地理院地図(色別標高図))を基に作成)

■道路状況

外周は都市計画道路に囲まれており、通過交通はこれらの道路を中心に処理しています。また、地区内はおおむね幅員6m以上の道路が整備されています。



道路現況図
(港区の土地利用 (平成30(2018)年3月)



(参考) 主要な道路の整備状況
(港区道路台帳、都市計画の内容を基に作成)
※令和4(2022)年4月時点



都市計画道路 (都市計画施設)
(港区都市計画施設等図 (令和4(2022)年3月) を基に作成)

6 まちの魅力（特性）

アンケート調査やまちの現況などを踏まえ、まちの魅力（特性）として今後も維持またはさらに伸ばしていきたい点、まちの課題として改善や解消が必要な点を、それぞれ整理します。（アンケート調査の結果概要は参考資料を参照）

○国際交流拠点として多様な都市機能が集積しています（土地利用・活用、国際化・観光・文化）

- 地区内にはMICE施設や高規格のオフィス、国際水準の宿泊施設などの国際交流拠点にふさわしい業務、文化交流機能が整備されていることに加え、尾根道沿道や後背地を中心に質の高い住環境の整備が進んでいます。
- 虎ノ門ヒルズ駅の開業、環状第2号線の開通など交通ネットワークの整備とともに国際ビジネス拠点の形成が進んでいます。
- 外資系企業や大使館が多く存在することに加え、開発により国際水準の住宅、教育施設、医療施設などの整備が進んでおり、国際性豊かなエリアとなっています。



国際水準のオフィス



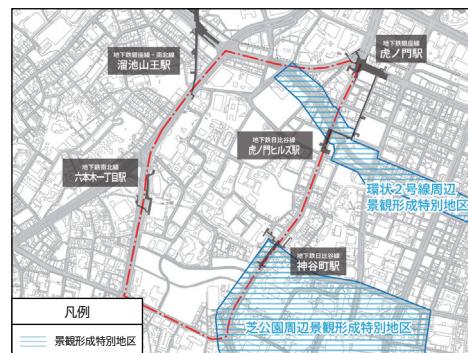
虎の門病院

○本地区とその周辺には景観資源・観光資源が豊富にあります（土地利用・活用、国際化・観光・文化）

- 本地区には歴史の感じられる寺社や坂、文化財建築物が数多くあるほか、高低差に富んだ地形が特徴ある景観を形成しています。
- 地区周辺には、東京タワー、愛宕神社などの観光スポットがあります。
- 本地区及び周辺には、景観形成特別地区が2地区指定されています。



東京タワー



景観形成特別地区
(港区景観計画(平成27(2015)年12月)を
基に作成)

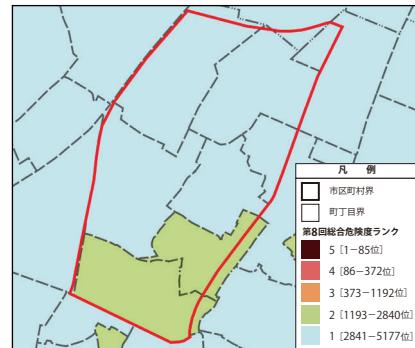
○治安が良く、安全性が高いエリアです（住宅・生活環境・防犯、防災）

- 地区全体の犯罪件数が平成26（2014）年から減少しており、治安の良いエリアとなっています。
- 地区内の総合危険度ランク※は1又は2であり、災害に対する安全性が高いエリアとなっており、木造が密集している地域は市街地再開発事業などによりおおむね解消されています。
- 本地区外周の都市計画道路は全て緊急輸送道路に指定されています。
- 大規模開発により一時滞在施設の整備が進んでいますほか、本地区内には地域防災拠点が1か所、地域集合場所が10か所あります。

※総合危険度ランク：各ランクの存在比率をあらかじめ定め、災害時活動困難度を加味した建物倒壊危険度及び災害時活動困難度を加味した火災危険度の危険量の和の大きな町丁目から順に高い5段階のランクに割り当てたもの



本地区内の犯罪件数※の推移
(警視庁犯罪件数マップを基に作成)



総合危険度ランク
(地震に関する地域危険度測定調査〔第8回〕
(平成30(2018)年2月))

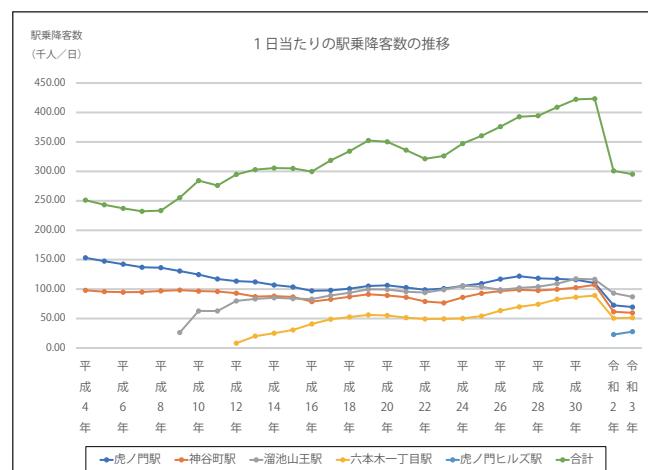
※本地区内の犯罪件数：町丁目別の犯罪件数を基に集計。地区内外に跨る町丁目については面積按分。

○公共交通機関が充実し、道路・歩行者ネットワークの整備が進んでいます（道路・交通）

- 地下鉄、都営バス、ちいばす、東京BRTが通る交通利便性が高い地区となっています。
- 鉄道の乗降客数は平成7（1995）年以降はおおむね増加傾向にあります。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和3（2021）年時点では、平成24（2012）年比85.0%と減少しています。（平成30(2018)年時点では平成24(2012)年比122%）
- 開発などにより道路や歩行者ネットワークの整備が進んでいます。通過交通は外周の幹線道路や環状第2号線を中心に処理しています。
- 東京BRTが開業したことに加え、六本木方面から品川駅への南北線の延伸に係る鉄道事業が許可され、広域交通のさらなる充実が見込まれます。



本地区周辺の鉄道、バス、BRT路線図
(各交通事業者HPを基に作成)



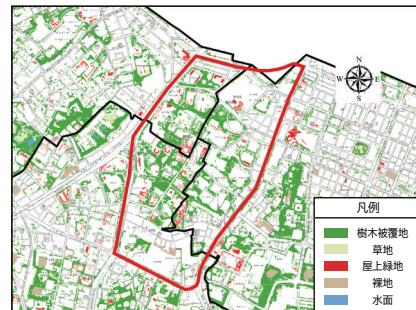
乗降客数グラフ
(東京都統計年鑑、東京メトロHPを基に作成)

○緑豊かな空間が形成されているほか、環境に配慮した取組が行われています（緑・水、景観、脱炭素化）

- 本地区は街路樹や寺社・大使館などのゆかりある緑や開発により整備された緑地、空地（地区施設、公開空地）などにより、緑豊かな市街地が形成されています。
- 自然を生かした斜面緑地や広場・公園内の緑地など多種多様な緑が存在しています。
- 本地区内の緑被率は増加しています。（平成18（2006）年比126%）
- 本地区内の屋上緑被率は港区平均に比べ高くなっています。（対港区平均比175%）
- 豊富な緑と高低差に富んだ地形があいまった景観が形成されています。
- 地区内には地域冷暖房区域が6か所あります。



赤坂・虎ノ門緑道



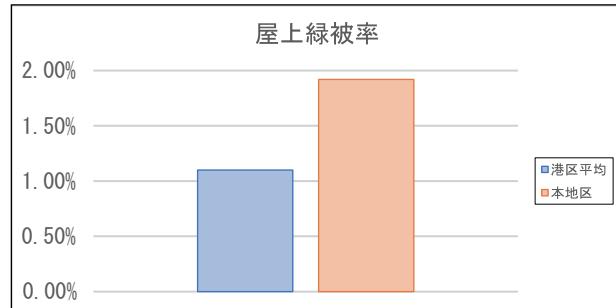
緑被率

(港区みどりの実態調査(第10次報告書)

(令和4(2022)年3月))



桜坂

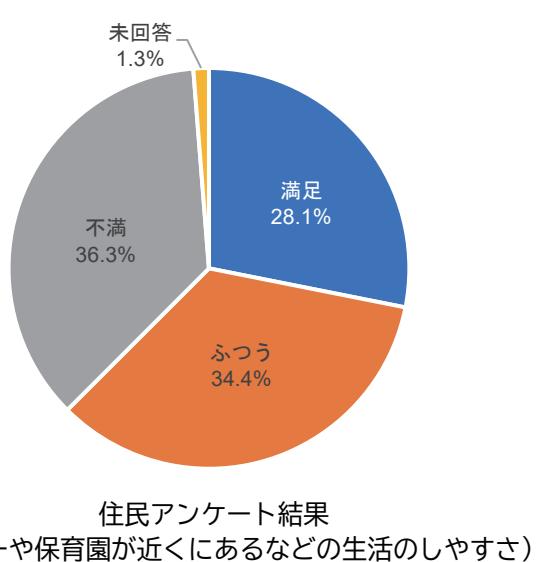


(港区みどりの実態調査(第10次報告書)

(令和4(2022)年3月)を基に作成)

○業務環境と住環境の共存が求められています（住宅・生活環境・防犯、景観）

- 本地区は夜間人口比率が低く、多様なニーズに対応した生活支援施設が不足しています。
- アンケート調査では『スーパーや保育園が近くにあるなどの生活のしやすさ』や『店舗や保育園が近くにあるなどの生活のしやすさ』の項目において『満足』の回答が少ない結果となっています。
- アンケート調査では『伸ばしたい取組』の回答が最も多かったのが『ビジネス環境と良好な居住環境の両立』であり、業務環境と住環境の共存を実現する、国際競争力強化に向けた経済活動の場としての更なる魅力の向上が求められています。
- 外国人ビジネスマンやその家族の増加に対応する生活利便施設が求められています。
- 指定喫煙場所が不足しています。（地区内5か所）

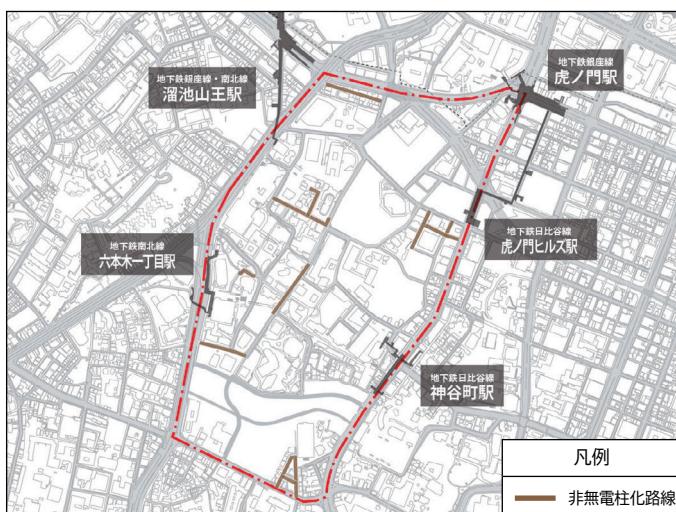


業務環境と住環境が共存した街並み

にぎわいの感じられる街並み（アークヒルズ）
(アークヒルズHP)

○激甚化する災害への対応が求められています（防災）

- 無電柱化されていない路線が複数存在します。
- 自然災害の多発化、甚大化への対応が求められています。

電線類地中化の未整備路線
(港区無電化推進計画(令和4(2022)年3月)を基に作成)

避難所開設・運営訓練の様子

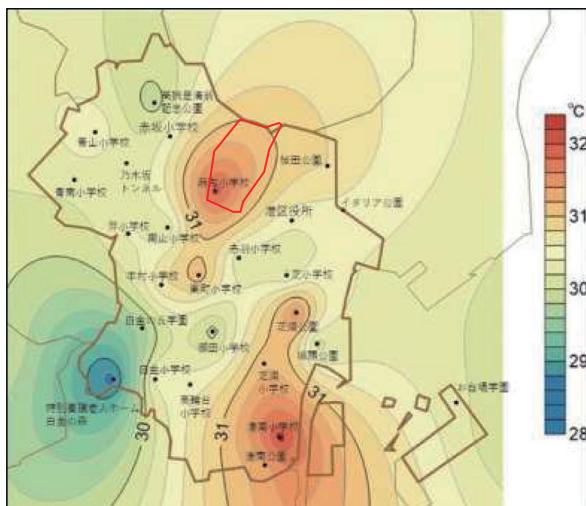


防災備蓄倉庫

○脱炭素化への対応が不可欠となっています（脱炭素化）

- 「港区における夏期ヒートアイランドの特性に関する調査結果（平成30（2018）年3月）」では、本地区は麻布小学校を中心に31℃を超える気温の高いエリアとなっており、原因は周辺大規模商業施設からの人工排熱の影響を受けやすいためと考えられています。
- 港区は令和3(2021)年3月に「ゼロカーボンシティ」を表明し、令和12（2030）年度までに温室効果ガス排出量を40%削減し、令和32（2050）年までに温室効果ガスの排出実質ゼロをめざす目標を立てており、本地区においても脱炭素社会に向けた取組が必要となっています。

（例）環境負荷の少ない交通手段：シェアサイクル、次世代モビリティなど

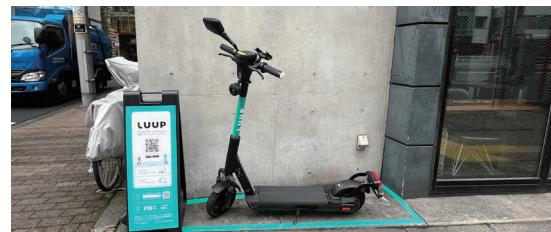


1日の最高気温分布

（港区における夏期ヒートアイランドの特性に関する
調査結果（平成30(2018)年3月））



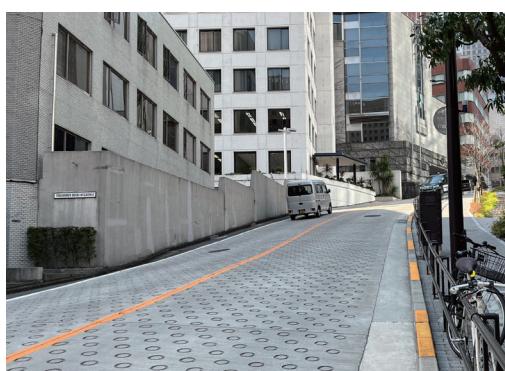
シェアサイクル



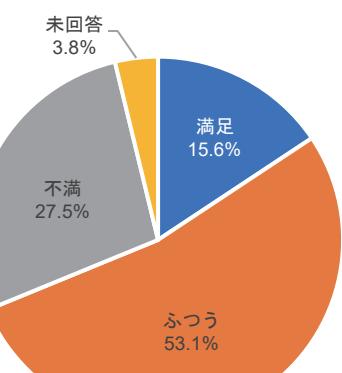
電動キックボード

○道路ネットワーク・バリアフリーが一部未整備となっています（道路・交通）

- 自動車ネットワーク（道路）、歩行者ネットワーク（歩道など）が一部未整備になっています。
- 本地区は地形の起伏が大きく、アンケート調査では『バリアフリーの整備状況』の項目において『不満』の回答が多くみられました。



急峻な坂道（江戸見坂）

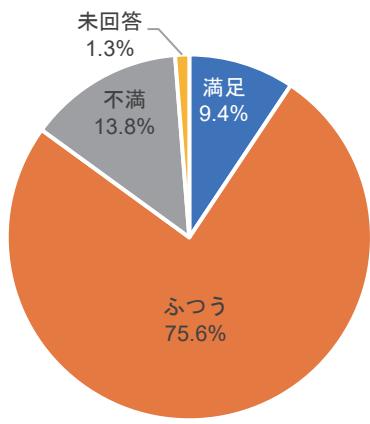


住民アンケート結果（バリアフリーの整備状況）

○まちの魅力を高めるエリア全体としての取組が求められています

(土地利用・活用、防災、国際化・観光・文化)

- 本地区の一部では安全確保計画を策定するなどの防災への取組が行われていますが、災害の激甚化に対応するべくさらなる事業者間連携の推進が求められます。
- アンケート調査では『まちの観光やPR・情報発信に関する取組』の項目において『満足』の回答が少ない結果となっています。
- 町会役員が高齢化しており、地域コミュニティの担い手が不足しているほか、コミュニティ活動の場が不足しています。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、町会・自治会の活動の多くが中止や縮小などの影響を受けています。
- 歴史や文化を感じさせるまちの資源を結びつける回遊性が不足しています。
- 案内標識などの情報表示のデザインが統一されていません。



住民アンケート結果
(まちの観光やPR・情報発信に関する取組)

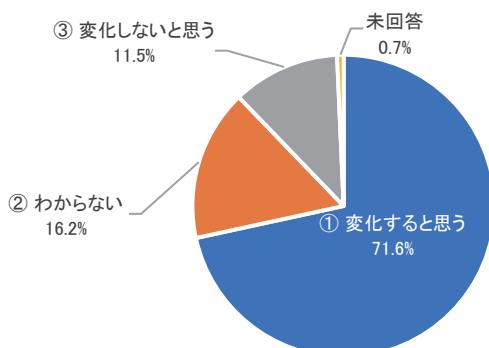


地域活動の様子

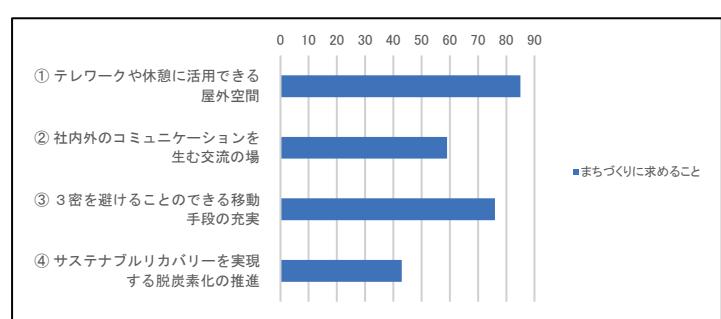
○新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴いライフスタイルが変化してきています

(土地利用・活用、緑・水)

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、屋外空間の価値が再評価され需要が高まっているほか、テレワークの普及や、生活重視の暮らし方への価値観のシフトなど、ライフスタイルが変化してきています。
- アンケート調査においても、『新型コロナウイルスの感染拡大によってビジネス拠点に求められるまちづくりが変化すると思う』との回答が多くみられました。



企業アンケート結果(新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるまちづくりへの変化)



企業アンケート結果(新型コロナウイルス感染症の感染拡大後のまちづくりに求めること)

【魅力まとめ】

《魅力》

《魅力（○）・特性（△）》

■土地利用・活用

- △多様な都市機能が集積しています（業務、居住、宿泊、教育、医療、文化など）
- △虎ノ門ヒルズ駅の開業、環状第2号線の開通など交通ネットワークの整備とともに国際ビジネス拠点の形成が進んでいます
- △尾根道沿道や後背地、地区の南側を中心に質の高い住環境の整備が進んでいます

■国際化・観光・文化

- △MICE施設や国際水準の宿泊施設の整備が進んでいます
- △外資系企業や大使館が多くあります
- 地区周辺には、東京タワー、愛宕神社などの観光スポットがあります

■防災

- △総合危険度ランクは麻布台1丁目、虎ノ門5丁目がランク2、それ以外の町丁目はランク1であり安全性が高いエリアです
- △木造が密集した地域は、市街地再開発事業などによりおおむね解消されています
- △本地区外周の都市計画道路は全て緊急輸送道路に指定されています
- △大規模開発により一時滞在施設の整備が進んでいるほか、本地区内には地域防災拠点が1か所、地域集合場所が10か所あります

■緑・水

- 緑被率が増加しています（平成18（2006）年比126%）
- △赤坂・虎ノ門緑道や桜坂などの街路樹が道路緑化空間を形成しています
- 自然を生かした斜面緑地や広場・公園内の緑地など多種多様な緑が存在します



■景観

- 地形的、文化的資源が豊富です
- 豊富な緑と高低差に富んだ地形があいまって景観が形成されています
- △本地区及び周辺には、景観形成特別地区が2地区指定されています

■道路・交通

- 地下鉄5駅が隣接し、交通利便性が高くなっています
- △東京BRTの開業に加え、品川駅への南北線の延伸に係る鉄道事業が許可され、広域交通のさらなる充実が見込まれます
- △開発などにより道路や歩行者ネットワークの整備が進んでいます
- △外周は幹線道路に囲まれており、通過交通はこれらの道路及び環状第2号線を中心に処理しています

■住宅・生活環境・防犯

- 地区全体として犯罪件数が減少しており、治安の良いエリアです（平成24（2012）年比75%）
- △外国人人口比率は13.6%となっており、港区平均の7.2%に比べて高くなっています
- △人口が増加傾向にあります（平成24（2012）年比140%）
- 開発により国際水準の住宅、教育施設、医療施設などの整備が進んでいます
- △本地区内の昼間人口は夜間人口を大幅に上回っています（昼間人口は夜間人口の約11.6倍）

■脱炭素化

- 地区内に地域冷暖房区域が6か所あります
- 屋上緑被率が本地区は港区平均に比べ高くなっています（対港区平均比 175%）

【課題まとめ】

《課題》

《課題（〇）》

■土地利用・活用

- 国際競争力強化に向けた経済活動の場としてのさらなる魅力の向上が必要となっています
- ライフスタイルの変化に対応したさらなる生活環境の充実が必要となっています
- コミュニティ活動の場が不足しています
- 外国人ビジネスマンやその家族の増加に対する生活支援施設が求められています

■住宅・生活環境・防犯

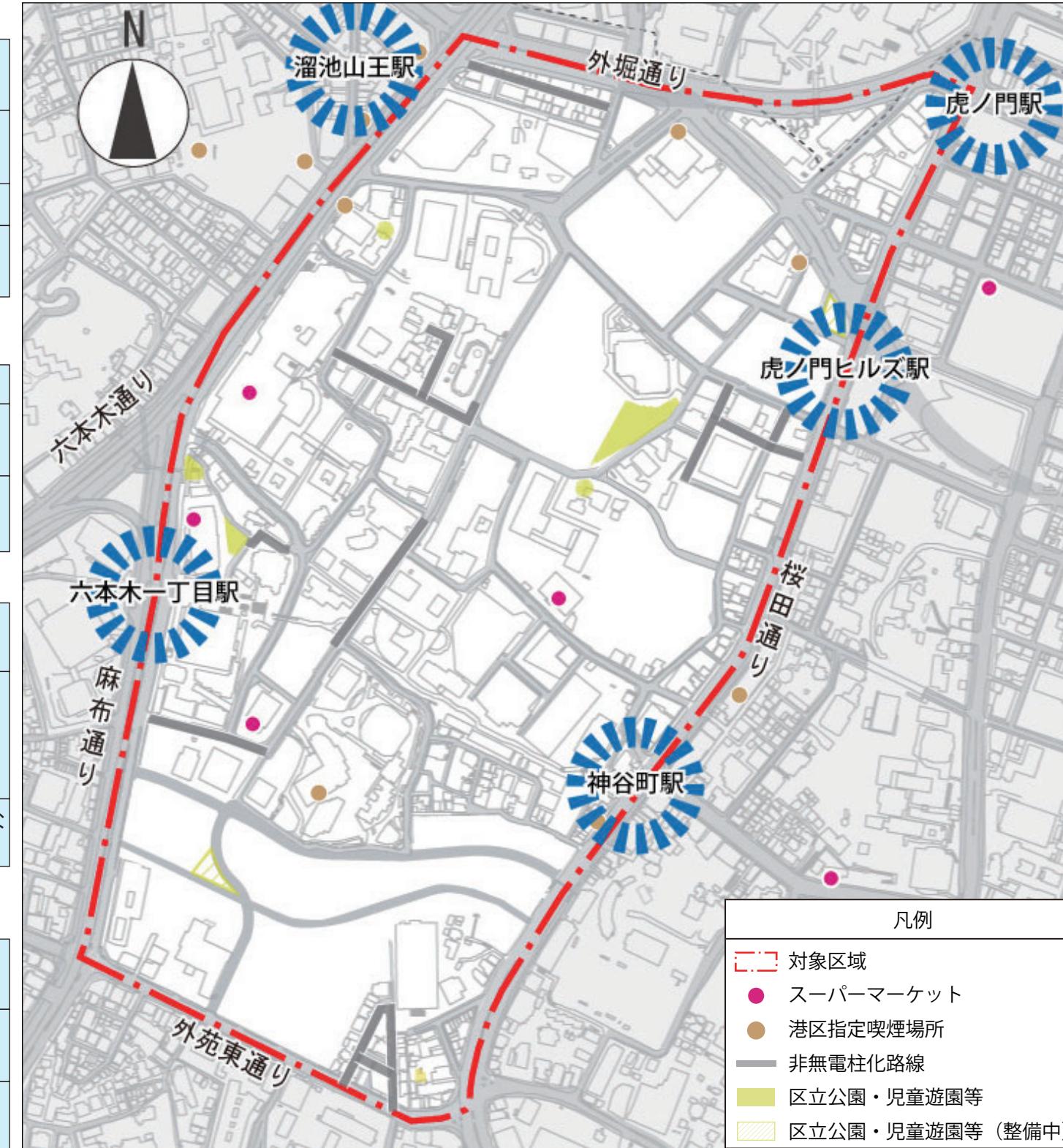
- スーパー・マーケットなどが不足しています
- 指定喫煙場所が不足しています（地区内5か所）
- 町会役員が高齢化しており、地域コミュニティの担い手が不足しています

■脱炭素化

- 港区の中でも特に気温が高い地域となっています
- 港区では令和32（2050）年までに温室効果ガスの排出実質ゼロを目指しております、本地区においても脱炭素社会に向けた取組が必要となっています
- 環境負荷の少ない交通手段の検討が必要となっています

■国際化・観光・文化

- 歴史や文化を感じさせるまちの資源を結びつける回遊性が不足しています
- 案内標識などの情報表示のデザインが統一されていません
- アンケートでは『まちの観光やPR・情報発信に関する取組』に対して『満足』の回答が9.4%と少ない結果となっています



■道路・交通

- バリアフリーの未整備箇所があり、駅からの動線などのバリアフリーのネットワーク化が不十分です
- 自動車ネットワーク（道路）、歩行者ネットワーク（歩道など）が一部未整備となっています

■防災

- 無電柱化されていない路線が複数存在します
- 自然災害の多発化、甚大化への対応が必要となっています
- 安全確保計画を策定するなどの防災への取組が行われていますが、更なる事業者間連携の推進が求められています

■緑・水

- アンケートでは『広場・オープンスペースの利用のしやすさ』に対して『満足』の回答が24%と少ない結果となっています

■景観

- 住宅街（落ち着いた街並み）とビジネス街（にぎわいの感じられる街並み）の街並みの両立が求められています

